

徳山ダム建設事業に関する報告

平成20年 8 月 5 日

独立行政法人水資源機構 中部支社

目 次

I. 徳山ダム建設事業の概要	1
II. 徳山ダム建設事業の経緯	3
III. 徳山ダム試験湛水について	4
IV. 今後のダム管理等について	8

I. 徳山ダム建設事業の概要

【徳山ダムの概要】

○徳山ダムの総貯水容量 = 日本一の約6億6千万m³(浜名湖の約2倍)

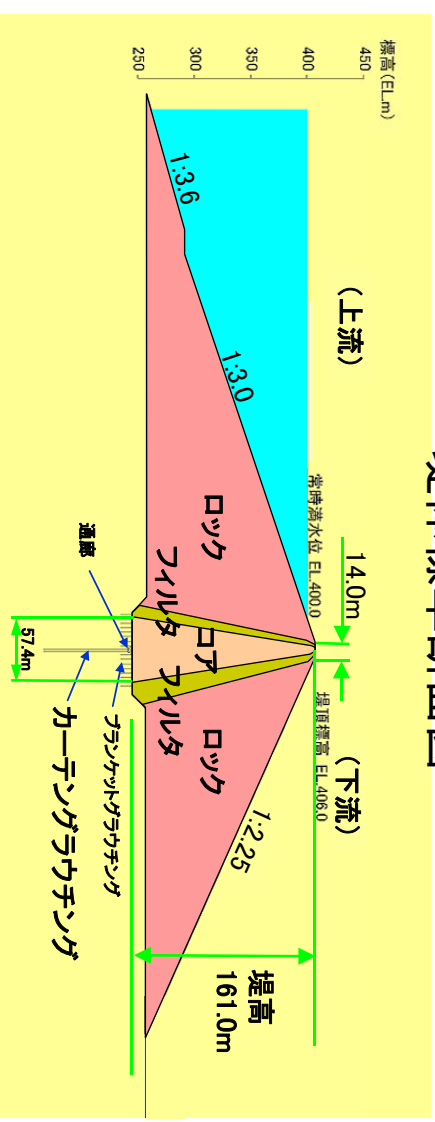
○湖面積 = 約13 km²(諏訪湖とほぼ同じ)



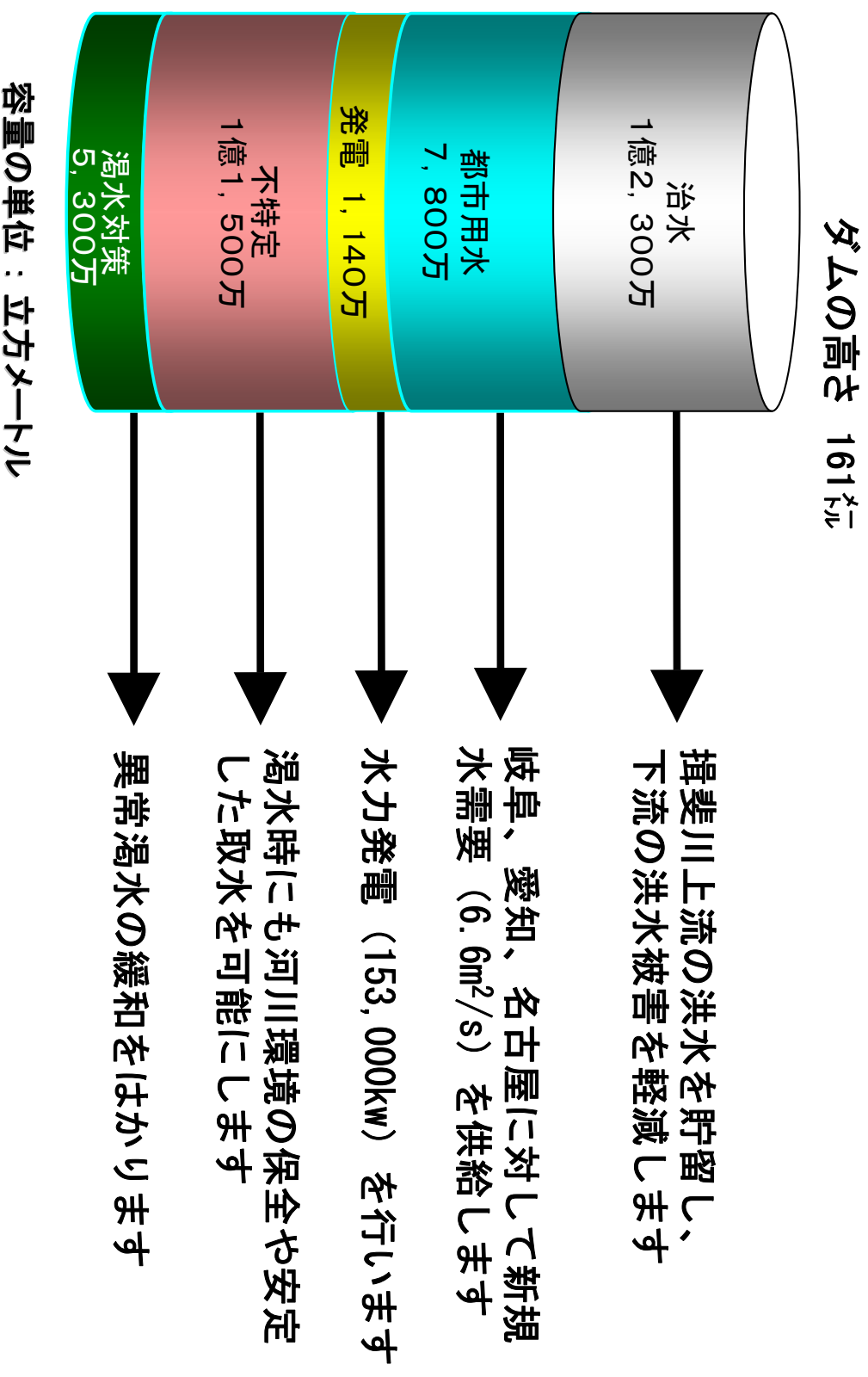
(H19.10.30撮影)

徳山ダム 諸元	
河川名	木曾川水系揖斐川
位置	岐阜県揖斐郡揖斐川町
集水面積	254.5km ²
形式	中央遮水壁型ロックフィルダム
堤高	161m
堤頂長	427.1m
堤体積	約13,700,000m ³
総貯水容量	660,000千m ³

堤体標準断面図



【徳山ダムの役割】

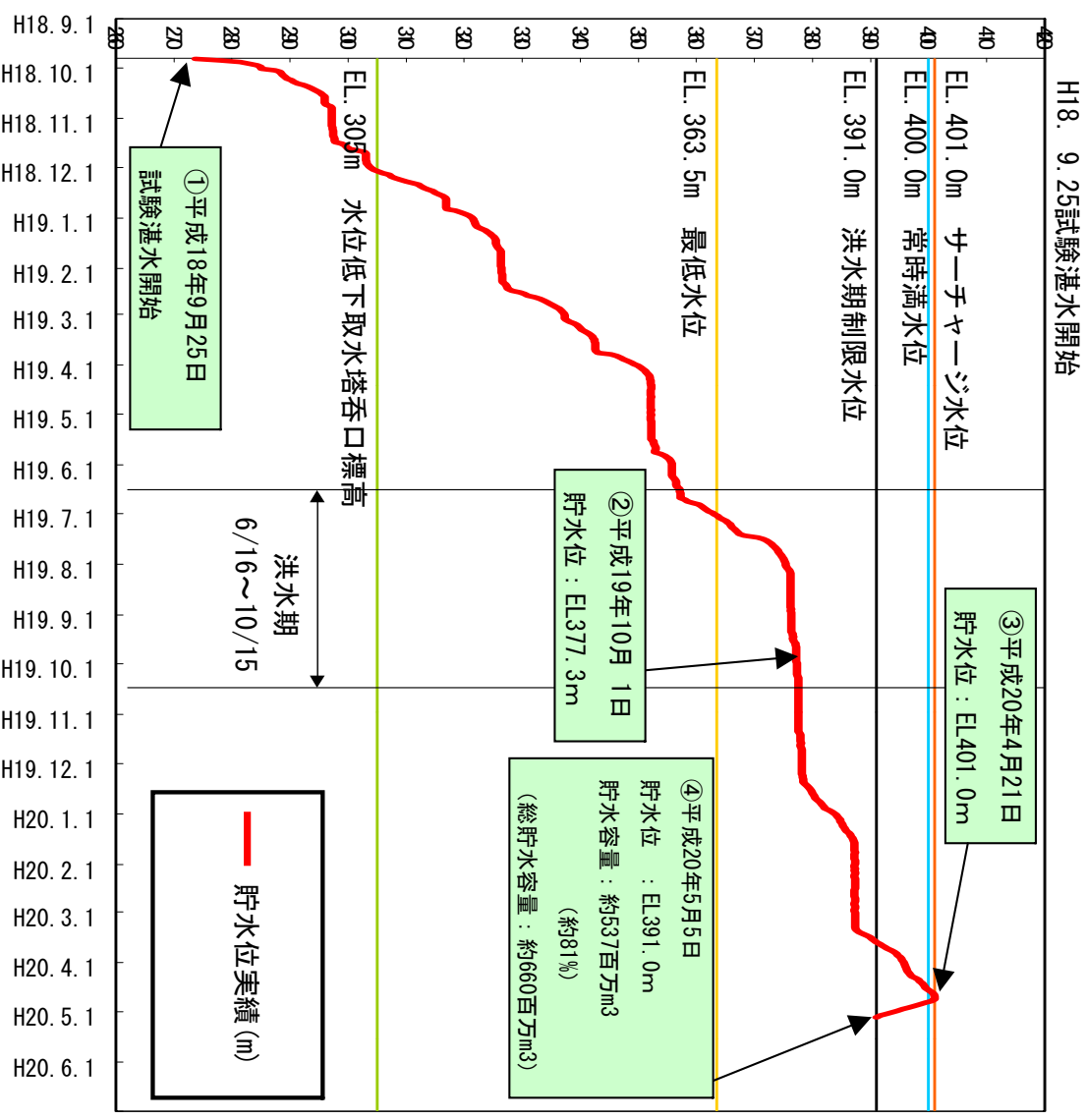


II. 徳山ダム建設事業の経緯

昭和32年12月	揖斐川上流域を電源開発促進法に基づく調査区域に指定
昭和46年4月	実施計画調査の開始
昭和51年9月	事業実施計画の認可
昭和58年11月	一般補償基準の妥結調印
昭和61年3月	公共補償協定の締結
昭和62年4月	徳山村が藤橋村に廃置分合
平成元年3月	466世帯すべての移転契約完了
平成9年2月	徳山ダム建設事業審議委員会（平成7年12月設置）から意見提出（徳山ダムは治水・利水の緊急性、重要性からみて早期に完成させるべき）
平成12年3月	ダム堤体建設一期工事に着手
平成16年4月	中部地方整備局事業評価監視委員会で「徳山ダム建設事業の継続」了承
平成17年1月	藤橋村を含む揖斐郡1町5村が合併し、揖斐川町が誕生
平成17年10月	「徳山ダム上流域の公有地化事業に関する基本協定書」の締結
平成17年11月	堤体盛立て完了
平成18年6月	洪水吐コンクリート打設完了
平成18年9月	試験湛水開始
平成20年4月	徳山ダム管理所発足
平成20年5月	試験湛水終了

徳山ダム試験湛水結果

- H18. 9. 25 試験湛水開始
- H20. 4. 21 最高水位に到達
(標高EL.401m、貯留量6億6千万m³)
- H20. 4. 24 試験放流開始
最大1m/日以内、放流量200m³/s
を限度として水位を低下
- H20. 5. 5 試験放流終了
貯水位を洪水期制限水位(標高
EL.391m)まで10m降下
- 試験湛水期間中において、ダム堤
体・基礎及び貯水池周辺斜面に重
大な異常は見られなかった。
- 試験放流開始後、ダムからの放流
量の増加に伴い、下流河川の水溫
低下、濁度上昇が見られた。試験
放流終了時には水溫・濁度とも試
験放流開始前と変わらない状況に
回復した。



徳山ダム貯水池の状況



①試験湛水開始(EL.263.5m)H18.9.25



②試験湛水開始1年(EL.377.3m)H19.10.1



③サーチャージ水位(EL.401m)H20.4.21



④洪水期制限水位(EL.391m)H20.5.5

徳山ダム試験放流状況



4月24日 試験放流状況

ダム天端、ダムサイト周辺を整備し、一般に開放



ダム天端



右岸天端広場



ダム下流面展望台

放流最終日の5月4日には、
約2300人の見学者

IV. 今後のダム管理等について

○徳山ダムは、平成20年4月1日より管理に移行したが、試験湛水の終了、完成検査を終えて本格的な運用を開始。

(ダム機能)

- ・洪水調節及び不特定補給による機能発揮

徳山ダムとして本格的な管理運用の開始により、本年度から揖斐川下流域に対する洪水調節及び既得用水や河川環境維持のための補給を開始。

- ・利水及び緊急水の補給

愛知県及び名古屋市への利水補給、長良川・木曽川における緊急濁水時の補給については、木曽川水系連絡導水路事業の実施により補給予定。

(木曽川水系連絡導水路事業は平成27年度完成)

- ・水力発電

発電事業者により徳山発電所の建設事業が進められており、平成26年度より運用を開始予定。

(環境関係)

- ・「徳山ダムモニタリング部会」において、湛水前後の環境モニタリング調査計画を審議し、調査実施中。(モニタリング調査については平成21年度まで実施予定)

湛水前後の環境調査結果については、中部地方ダム等管理フォローアップ委員会・徳山ダムモニタリング部会において審議いただく予定。